



2012年5月8日

各位

会社名 アサヒグループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 泉谷 直木
(コード:2502、東証・大証第1部)
問合せ先 広報部門ゼネラルマネジャー 爲定 一智
(TEL. 03-5608-5126)

カルピス株式会社の株式の取得(子会社化)に関する株式売買契約締結のお知らせ

当社は、本日、味の素株式会社(以下、「味の素社」といいます。)との間で、味の素社の100%子会社であるカルピス株式会社(以下、「カルピス社」といいます。)の発行済株式の全部を取得する株式売買契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本件の概要

当社が本日味の素社との間で締結したカルピス社株式の売買契約の概要は次のとおりです。

- (1) 契約締結日:2012年5月8日
- (2) 契約当事者:(売主)味の素社、(買主)当社
- (3) 取得対象の株式:カルピス社の発行済株式73,936,871株の全部
- (4) 取得価額:約1,200億円(注)

(注)当該金額は、株式価値1,190億円に株式取得の実行(クロージング)時におけるカルピス社グループの現預金・運転資本等に基づいて追加して30億円を支払う可能性があります。なお、クロージング日までにカルピス社が味の素社に対して少なくとも250億円以上の剰余金の配当を行い、当該配当額が減額される予定です。

2. 本件の目的

当社グループは、2015年までの長期ビジョンとして、「自然のめぐみを、食の感動へ。『世界品質』で信頼される企業を目指す」ことを掲げ、グローバル食品企業トップ10レベルの事業規模を目指しております。当社グループの飲料事業の中核であるアサヒ飲料株式会社(以下、「アサヒ飲料社」といいます。)では、当社グループ長期ビジョンに基づき2012年を最終年度とする第4次中期経営計画において、加速する市場環境の変化に瞬時に対応できる『『活力』と『逞しさ』を兼ね備えたアサヒ飲料社への成長』をビジョンに「成長戦略」と「構造改革」を推進し、早期に国内飲料市場シェア10%の達成を目指しております。

一方、カルピス社は、消費者より長く親しまれてきた日本初の乳酸菌飲料「カルピス」に代表されるカルピス酸乳、乳酸菌および発酵を基軸とした事業展開を行い、そのブランドは健康イメージがあり広く社会に受け入れられ、これまで順調に業容を拡大してまいりました。また、90年以上にわたり受け継がれてきている乳酸菌と発酵技術から生まれた微生物活用技術を活かした高付加価値健康機能性飲料・食品事業や飼料事業にも取り組み、高く評価されております。更に2007年の味の素社による完全子会社化以降は、国内事業の更なる磐石な収益基盤の構築と、最重要事業としての海外飲料事業の成長を目指してまいりました。

当社グループとカルピス社とは、2001年5月の自動販売機の相互乗入れに始まり、2007年12月のアサヒカルピスビバレッジ設立により両社の自販機飲料事業を統合し、当社の中期経営計画達成に向けて協業してまいりました。

今回、カルピス社の全株式を取得することにより、当社グループの国内飲料事業の基盤が強化され国内清涼飲料業界シェア3位を確固たる地位にするとともに、当社グループとカルピス社の経営資源の融合による国内及び海外飲料事業の更なる強化、拡大を共に目指すことができると考えております。

3. カルピス社の概要

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

(1)	名 称	カルピス株式会社		
(2)	本 店 所 在 地	東京都渋谷区恵比寿南二丁目 4 番 1 号		
(3)	代表者の役職・氏名	取締役社長 山田 藤男		
(4)	事 業 内 容	飲料、健康機能性飲料・食品、乳製品、酒類、飼料添加物等の製造及び販売ならびにその他の事業活動		
(5)	決 算 期	3 月		
(6)	資 本 金	13,056 百万円		
(7)	設 立 年 月 日	大正 6 年 10 月 13 日		
(8)	大株主及び持株比率	味の素株式会社 100%		
(9)	当 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	資 本 関 係	当社の 100%子会社であるアサヒ飲料社とカルピス社は、以下の会社について、共同で出資を行っております。 「アサヒカルピスビバレッジ㈱」 出資比率:アサヒ飲料社 80%、カルピス社 20% 事業内容:自動販売機による清涼飲料水の販売	
		人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
		取 引 関 係	当該会社の持分法適用会社であるアサヒカルピスビバレッジ㈱は当社の 100%子会社であるアサヒ飲料社等より飲料を仕入れ、自動販売機にて販売しております。	
(10)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (注 1)			
	決算期	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期 (注 2)
	純 資 産	55,847 百万円	56,522 百万円	59,186 百万円
	総 資 産	80,625 百万円	83,370 百万円	90,646 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	755.34 円	764.47 円	800.50 円
	売 上 高	105,626 百万円	110,669 百万円	107,403 百万円
	営 業 利 益	2,970 百万円	4,523 百万円	5,671 百万円
	経 常 利 益	3,263 百万円	4,775 百万円	6,122 百万円
	当 期 純 利 益	971 百万円	1,828 百万円	3,625 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	13.13 円	24.72 円	49.03 円
	1 株 当 たり 配 当 金	13.13 円	14.88 円	未定

(注 1) 当該会社は、連結指標がないため、単体指標を記載しております。

(注 2) 当適時開示時点において、当該会社の財務諸表に対する会社法監査手続が未了です。

3. 味の素社の概要

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

(1)	名 称	味の素株式会社		
(2)	本 店 所 在 地	東京都中央区京橋一丁目 15 番 1 号		
(3)	代表者の役職・氏名	取締役社長 伊藤 雅俊		
(4)	事 業 内 容	調味料、加工食品、冷凍食品、油脂、コーヒー類、飲料、チルド乳製品、アミノ酸、甘味料、化成品、医薬品、医療食品等の製造及び販売ならびにその他の事業活動		
(5)	資 本 金	79,863 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	大正 14 年 12 月 17 日		

(7)	大株主及び持株比率 (平成 23 年 3 月 31 日時点)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6.35%
		日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5.40%
		第一生命保険株式会社	3.74%
		日本生命保険相互会社	3.67%
		株式会社三菱東京 UFJ 銀行	2.88%
		日本興亜損害保険株式会社	2.30%
		明治安田生命保険相互会社	1.80%
		全国共済農業協同組合連合会	1.73%
		SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	1.69%
		三菱 UFJ 信託銀行株式会社	1.65%
(8)	決 算 期	3 月	
(9)	連 結 純 資 産	650,291 百万円	
(10)	連 結 総 資 産	1,077,418 百万円	
(11)	当 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
		人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
		取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

4. 今後のスケジュール

クロージングまでの今後のスケジュールの概要は次のとおりです。

2012 年 5 月 8 日	味の素社との間で株式売買契約を締結
2012 年 10 月 1 日(予定)	売買実行のための先行条件充足を条件に、クロージング実行

5. 資金調達

本件のための資金は、当社が保有する手元資金及び外部借入を充当する予定です。

6. 業績への影響

本件が、当社の 2012 年 12 月期の個別業績及び連結業績に与える影響は、軽微と見込んでおります。

以 上

参考資料

カルピス株式会社の全株式取得について

平成 24 年 5 月 8 日

- ・ アサヒグループホールディングス株式会社（以下、当社）は、味の素株式会社（以下、味の素社）の 100%子会社であるカルピス株式会社（以下、カルピス社）の発行済株式のすべてを取得する株式売買契約を締結した。
- ・ カルピス社は、1919 年に誕生した日本初の乳酸菌飲料「カルピス」の強いブランド力を中心とした「国内飲料事業（低アルコール飲料含む）」、「業務用事業」、「海外事業」のほか、高度な乳加工技術をいかしたバターなどの「乳製品事業」、長年培ってきた乳酸菌・発酵技術をいかした「機能性素材事業」、「微生物活用事業」を展開しており、当社の事業との親和性が高く、事業活動の様々な面での協力により、企業価値向上、グループの発展への貢献を期待。
- ・ 本件株式取得の実行（クロージング）は 10 月を見込んでおり、今後、カルピス社との間で事業シナジーの創出に向けた具体的な協議を進めていく。
- ・ 買収価額は約 1,200 億円だが、株式価値 1,190 億円にクロージング時における手元現預金・運転資本などに基づいて追加して 30 億円が支払われる可能性があり、また、クロージング日までにカルピス社が味の素社へ少なくとも 250 億円以上の剰余金の配当を行い、当該金額が減額される予定。

アサヒグループホールディングス株式会社

当社は、本日、味の素社との間で、味の素社の 100%子会社であるカルピス社の発行済株式のすべてを取得する株式売買契約を締結しました。

当社は、2015 年までの長期ビジョンとして「自然のめぐみを、食の感動へ。『世界品質』で信頼される企業を目指す」ことを掲げ、既存事業の安定的な成長を図るとともに国内外の事業投資を拡大することで、グローバル食品企業トップテンレベルの事業規模となることを目指しています。

カルピス社については、国内飲料市場における乳性カテゴリーでシェアトップを誇る「カルピス」を中心に、『カルピスソーダ』などの低アルコール飲料を含めた「国内飲料事業」、料飲店向け濃縮飲料などを扱う「業務用事業」、東南アジア（インドネシア・タイ・ベトナム）・中国・台湾・アメリカなどの「海外事業」のほか、高度な乳加工技術をいかした「乳製品事業」や長年培ってきた乳酸菌・発酵技術を活かした「機能性素材事業」、「微生物活用事業」を主な事業領域としており、当社事業（「酒類事業」、「飲料事業」、「食品事業」、「国際事業」）との親和性が高いと考えています。

また、当社の100%子会社でありグループの国内飲料事業を担うアサヒ飲料株式会社とカルピス社は、2001年に自動販売機の相互販売提携を結び、両社自販機において『三ツ矢サイダー』、『カルピスウォーター』など主力商品の相互販売を開始、2007年には共同出資によりアサヒカルピスビバレッジ株式会社を設立し、両社の自動販売機事業を統合するなどパートナーとしての関係を発展させてきました。

今回の株式取得により、「最高の品質と心のこもった行動を通じて、お客様の満足を追求し、世界の人々の健康で豊かな社会の実現に貢献」することを目指すアサヒグループは、「魅力と価値のある商品や技術を提供して、心とからだの健康に役立ち、社会に貢献できる企業グループを目指」すカルピス社をグループに迎え、これまで培ってきた協力関係をさらに推し進め、両社の企業価値とブランド価値のさらなる向上を目指します。

具体的には、当面カルピス社の現体制を維持しつつ、「商品ポートフォリオの補完」をはじめ、「調達」、「生産」、「物流」、「研究開発」など事業活動の様々な面において協業をはかるとともに、次期グループ中期経営計画を視野にいれ、今後のグループ全体の発展を目指した戦略の構築を進めていきます。

【カルピス社の概要】

名称： カルピス株式会社
本店所在地： 東京都渋谷区恵比寿南二丁目4番1号
代表者： 取締役社長 山田 藤男
事業内容： 飲料、健康機能性飲料・食品、乳製品、酒類、飼料添加物等の製造および販売ならびにその他の事業活動
決算期： 3月
資本金： 13,056百万円
設立年月日： 大正6年10月13日

以上